

失敗しない医学の学び方

科目責任者 増 田 道 明

学年・学期 1 学年・1 学期

I. 前 文

大学に入学できてホッとする一方、定期試験に合格できるだろうか、進級できるだろうか、留年せずに卒業できるだろうかといったことを不安に感じる人もいるかもしれません。医学部において学ぶべき内容は膨大であり、闇雲に勉強するのは非効率です。だからといって、試験テクニックだけで通用するわけでもありません。6年間の教育プログラム全体をまず把握して、自らの目標を定めて学修を進める姿勢を身につけることが、「失敗しない学び方」に繋がってきます。その際、本学のディプロマ・ポリシーやコンピテンシー・マイルストーン、文部科学省の医学教育モデル・コア・カリキュラムなど大いに参考になります。この自由選択科目はこれらの情報に関する理解を深め、医学教育専門家の助言も得ながら、受講者同士で意見交換し、自分に合った学修法やその実践法を初年次の早い時期に見出すことを目的としています。

授業の際は、教員からの情報提供に加えて、受講者によるグループワークやディスカッションを行います。そういう場での発言が苦手と言う人も、臆せず参加してみてください。教員の方でサポートします。

なお、授業の詳細な日時については未定ですが、受講者の都合や意見をなるべく参考にしながら決めていく予定です。

II. 担当教員

増 田 道 明 (微生物学講座)

北 村 聖 (教育支援センター)

III. 一般学習目標

獨協医科大学で医学を学んでいく上で、自分がどのように目標を設定し、どのように行動すればいいかを考える力と実践する力を身につける。

IV. 学修の到達目標

- ・獨協医科大学の医学教育プログラムについて概説できる。
- ・獨協医科大学医学部のディプロマポリシーやカリキュラムポリシーについて概説できる。
- ・医学教育モデル・コア・カリキュラムについて概説できる。
- ・自分の学修目標を設定することができる。
- ・自分に合った学修法を考え、実践することができる。
- ・同級生などと協力して学修成果を高める方法を考え、実践することができる。

V. 講義の学習内容

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者
1	4	未定	未定	未定	獨協医科大学へようこそ (オリエンテーション)	増 田 道 明 北 村 聖
2					獨協医大での6年間	

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者
3	4	未定	未定	未定	ディプロマ・ポリシーについて考えよう	増 田 道 明 北 村 聖
4	5				コンピテンシー・マイルストーンについて考えよう	
5					医学教育モデル・コア・カリキュラム（コアカリ）って何？	
6					コアカリを分析してみよう	
7	6				自分に合った学修法を考えてみよう	
8					みんなで協力できる学修法を考えてみよう	

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

自由選択科目なので進級には影響しませんが、以下のような事項を勘案して100点満点での成績評価を行います。

- ・ 授業に向けた情報収集や事前準備
- ・ 授業の際の積極性や発言内容，他者の発言への対応
- ・ 課題レポートの提出（3回程度）
など

なお，原則として1/3（3回）以上欠席した場合は成績評価の対象となりません。

VII. 教科書・参考図書・AV資料

- ・ 獨協医科大学医学部ディプロマ・ポリシー
 - ・ 獨協医科大学医学部カリキュラム・ポリシー
 - ・ 獨協医科大学医学部コンピテンシー・マイルストーン
 - ・ 医学教育モデル・コア・カリキュラム（平成28年度改訂版）
 - ・ 医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）
- その他，講義の際に必要なに応じて資料を配布あるいは紹介します。

VIII. 質問への対応方法

- ・ 授業の際に意見交換や質問の機会を設けますので，それを活用してください。
- ・ 担当教員のオフィスを訪ねて質問してくれても構いません。オフィスアワーについては授業の際に伝えます。
- ・ 科目LMSの掲示板やメールでの質問も可能です。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	○
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	○
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	◎
	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	○
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	○
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	○
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	○

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業中の発言やディスカッションの内容については、必要に応じて教員がフィードバックを行います。

課題レポートはコメントを付して返却します。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

事前学習：シラバスを参考に講義の要点を確認してください。（所要時間の目安30分）

事後学習：講義の内容をまとめてください。（所要時間の目安30分）

なお、各回の授業終了時に、事後学習の内容や次回の授業までに求められる事前学習について、受講者の意見も参考にしながら決める場合があります。

XII. コアカリ記号・番号

A-2-1) 課題探求・解決能力

A-2-2) 学修の在り方

A-4-1) コミュニケーション

A-9-1) 生涯学習への準備